

# 関西科学塾

Newsletter vol.9



発行:国立大学法人 奈良女子大学 関西科学塾事務局  
〒630-8506 奈良市北魚屋西町

e-mail

## F日程

2018年3月17日（土）～18日（日）奈良で科学に浸る2日間！  
実験から、結果の整理、考察、発表準備、発表まで

3月17日(土) 1日目プログラム  
13:00 集合、挨拶  
13:30-16:30 実験  
16:30-17:00 宿泊先へ出発  
17:00 奈良ユースホステル着  
18:00-19:00 夕食  
19:00-21:00 プレゼンテーション準備

最終企画F日程を奈良女子大学とならユースホステルで行いました。1日目、参加者は奈良女子大学理学部に集合、開会式とスケジュール説明が行われました。その後、実験講座ごとに8つの班に別れて大学内に移動しました。物理学、化学、生物学、数学といった理学部を代表するテーマの他にスポーツ科学がテーマの講座も開講されるなど、奈良女子大学を代表する多彩な科学分野の講座が開講されました。

実験実習は日頃から研究が行われている研究室や講義室で行われ、参加者は大学教員とティーチングアシスタントの学生の指導のもとに普段目にするのこない実験装置や器具を使った体験ができました。科学塾に既に参加した経験のある参加者も多数いて、彼女たちが初参加者をリードしながら楽しそうに没頭する姿が印象的でした。

実験終了後にバスで宿泊先の奈良ユースホステルに移動しました。夕食後には班毎に翌日のプレゼンテーションに向けて話し合い、協力して資料作りを行いました。

場所：奈良女子大学、奈良ユースホステル／参加者：中高生74名、保護者28名（17日）、27名（18日）



高度な実験を楽しませていただきました。また、簡単に結果と考察を済ませるのではなく深く考え悩む時間も十二分にあり、普通の勉強・資料集だけでは分からないことまで学ぶことができました（高1）



実験グループ	担当	実験タイトル
F-1	山本一樹	光のスペクトルを測ってみよう
F-2	狐崎 創	液体？固体？どっちつかずの粉とペーストの物理
F-3	保 智己	動物の好きな色の光、嫌いな色の光 -動物の光感覚器-
F-4	西井一郎	緑の宝石 ポルボックスの仲間たちを観察してみよう
F-5	竹内孝江	染料を合成して布を染めてみよう！
F-6	高島弘	どんな色でも消える！？謎の気体
F-7	篠田正人	円周率を求めてみよう
F-8	星野聡子	スポーツするところを生理学的に見える化する

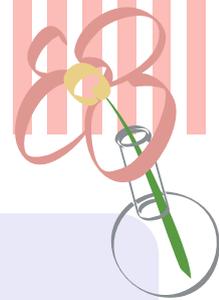
2017年度、関西科学塾は6月に募集する関西科学塾生対象のイベント（A～F日程）と、大学の外に出かけて行って開催するアウトリーチのイベントを行いました。

関西科学塾生対象のイベント（A～F日程）では、大学での講演・ロールモデルとの交流・乗船体験・実験・考察とプレゼンテーションなどのプログラムを実行しました。

アウトリーチは、より多くの中高生や保護者・教員の方に理系進路への魅力を伝えることや、理系・文系の意識のない小中学生やその保護者に科学のおもしろさを知ってもらうことを目的として開催しました。

来年度も開催予定です。募集情報は関西科学塾ホームページに随時掲載しますのでご覧ください。

実験と発表、理系女子大生との交流会などを1泊で行いました。



# F日程

2日目は朝食後に重要文化財に指定されている奈良女子大学記念館に移動し、最後の準備と打ち合わせを行ってプレゼンテーション（ジュニアサイエンスカフェ）に臨みました。各班とも工夫を凝らした発表、難しい内容を分かりやすく説明しようとする努力が印象的でした。ほとんどの班が持ち時間内に発表を終え、参加者のプレゼンテーションのレベルは非常に高いと感じられました。質問タイムでは中高生から活発に手があがりました。本質的で高度な質問が多いことにも驚かされましたが、それになんとか答えようとする姿勢も素晴らしいものがありました。

## 3月18日(日) 2日目プログラム

6:30	起床
7:00-7:45	朝食
8:00-8:40	奈良女子大学へ徒歩で移動
8:40-9:15	ジュニアサイエンスカフェ準備
9:15-12:00	ジュニアサイエンスカフェ
12:10-13:05	昼食
13:05-13:20	ミニ講演会
13:20-14:50	科学塾OG企画
15:00-15:20	表彰式・閉校式
15:20	閉会



ジュニアサイエンスカフェの様子

昼食後は関西科学塾の創設者の一人である相馬芳枝先生（第6回猿橋賞、IYC2011女性化学賞受賞）によるミニ講演会と科学塾OGによる企画が行われました。OGによる自己紹介と理系選択の体験や大学生活の状況が説明されました。中高生から、進路選択や大学生活について切実な関心事の質問がありました。最後に、表彰式と閉校式を行い、2日間の充実した楽しい体験の幕を閉じました。



最優秀賞受賞のF6班の皆さん



個人賞受賞の皆さん

・いろんな県の、自分と同じくらいの年の人と仲良くなれたし、刺激も受けれたから (中1)  
 ・身近な物でも、すごく奥深いと思った (中1)

興味のあること、ないことも両方の話をいろいろな視点からきけてよかったです (高1)

・私は、とても人前で話したり、ましてや質問に対応するなどできないのですが、今回同年代の方々がとてもしっかり発表したり対応していて、たくさんいて、とてもかっこいいと思いました。理系・文系にかかわらず、こういう風に人前で堂々とできる人になりたいと思いました (高1)

・具体的な大きな自分の夢が決まり、その間の細かい目標が決まった (中2)

・大学に行くモチベーションが上がった。 (高2)

・中学1年から高校2年という年の差があったからこそ、その学年でしか思いつかないことが出されていい機会になった (高2)



関西科学塾  
KANSU-KAGAKU  
SHUKU